



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社三社電機製作所 上場取引所 東

コード番号 6882 U R L <https://www.sansha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 元

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部 部長 (氏名) 丸山 博之 T E L 06-6321-0321

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	18,180	1.4	347	△43.8	282	△60.6	84	△83.2
2025年3月期第3四半期	17,936	△24.3	618	△81.5	717	△79.0	500	△79.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 596百万円 (△24.8%) 2025年3月期第3四半期 793百万円 (△71.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	6.34	—
2025年3月期第3四半期	37.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	34,063	24,415	71.7	1,834.32
2025年3月期	33,571	24,341	72.5	1,830.19

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 24,415百万円 2025年3月期 24,341百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	30.00		40.00
2026年3月期	—	10.00	—			
2026年3月期(予想)				30.00		40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	27,700	8.9	1,200	11.8	1,200	1.6	840	63.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規一社 (社名) 一、除外一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数           |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    |

2026年3月期3Q	14,950,000株	2025年3月期	14,950,000株
2026年3月期3Q	1,639,522株	2025年3月期	1,650,022株
2026年3月期3Q	13,305,548株	2025年3月期3Q	13,299,978株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式が以下のとおり含まれております。

2025年3月期：123,000株 2026年3月期3Q：112,500株

また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2025年3月期3Q：123,000株 2026年3月期3Q：117,430株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策が各国経済に与える影響に加え、中東地域をはじめとする地政学リスクや金融政策の動向などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。国内においては、物価上昇やエネルギー価格の高止まりが続いていることから、当社事業の成長を支える民間設備投資についても力強さに欠ける動きが継続しております。

このような状況のなか、当社グループでは、パーカーパス「パワーエレクトロニクスと創造力で、社会を前進させる。」のもと、ビジョン「Global Power Solution Partner」の実現に向け、中期経営計画「C F 26」の各施策を着実に推進しております。なお、「C F 26」は当連結会計年度において2年目を迎えております。

半導体事業におきましては、SiC製品のラインアップ拡充に向けた製品開発を進めるとともに、さまざまな用途に向けた営業活動を展開しております。また、既存製品を含め、再生可能エネルギー市場、通信市場、サーボ市場などのインフラ分野を中心に、販売強化に取り組んでおります。

電源機器事業におきましては、国内を中心に、モジュール型蓄電池試験・評価用電源を営業活動の重点施策の一つとして取り組んでおります。また、上半期に開発を完了した表面処理用電源の海外モデル品について、受注獲得を図っております。加えて、設計作業の標準化による工数削減を進めており、これを継続することで、さらなるコスト削減に取り組んでおります。

これらのはか、両事業においてさまざまな施策を推進しておりますが、その成果が業績に反映されるまでには一定の時間を要するものも多く、当第3四半期連結累計期間においては、顧客需要の変動や同業他社の動向など、足元の事業環境の変化が業績に影響を及ぼしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は181億8千万円（前年同期比1.4%増加）となりました。営業利益は3億4千7百万円（前年同期比43.8%減少）、経常利益は2億8千2百万円（前年同期比60.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千4百万円（前年同期比83.2%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (a) 半導体事業

当事業におきましては、ディスクリートの販売及びチップの販売を伸長させることができましたが、主力のパワー・モジュールについては、中国向けを中心に依然として受注回復が鈍く減収となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は45億8千2百万円（前年同期比4.9%増加）となりましたが、セグメント損益は、前期より実施した設備投資の影響により、減価償却負担が増加しており、投資効果の顕在化には時間を要することから、5億1千1百万円の損失（前年同期間は4億1千9百万円の損失）となりました。

#### (b) 電源機器事業

当事業におきましては、一般産業用電源において特殊な充放電用、金属加工処理用、試験・評価用などの販売が伸長したほか、無停電電源装置や燃料電池パワーコンディショナーなど、インバーター分野の電源も増収となりました。一方、主力製品である表面処理用電源においては、電子部品向けやプリント基板向けの需要減速が継続していることを背景に高精度表面処理用の販売が減少いたしました。また、小型組み込み電源では、主力の医療機器向けが減少いたしました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は135億9千7百万円（前年同期比0.2%増加）となりました。セグメント利益は、前年同期と比較して材料コストが高騰したことなどにより、8億5千8百万円（前年同期比17.2%減少）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億9千2百万円増加し、340億6千3百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億8千3百万円、商品及び製品が6億9千3百万円、機械装置及び運搬具が2億5千4百万円それぞれ増加したものの、売掛金が10億6千1百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億1千8百万円増加し、96億4千8百万円となりました。これは主に短期借入金が8億円減少したものの、支払手形及び買掛金が8億8千6百万円、未払金が6億1千万円それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7千4百万円増加し、244億1千5百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が4億6千1百万円増加し、利益剰余金が4億5千2百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	5,760	6,044
受取手形	359	316
売掛金	7,485	6,424
電子記録債権	1,673	2,065
商品及び製品	3,801	4,495
仕掛品	2,280	2,271
原材料及び貯蔵品	2,740	2,808
その他	821	390
貸倒引当金	△23	△33
流动資産合計	24,900	24,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,636	1,529
機械装置及び運搬具（純額）	796	1,050
土地	2,256	2,256
リース資産（純額）	467	520
建設仮勘定	1,114	1,465
その他（純額）	235	233
有形固定資産合計	6,505	7,056
無形固定資産		
のれん	9	5
その他	512	452
無形固定資産合計	522	457
投資その他の資産		
投資有価証券	88	26
繰延税金資産	145	86
退職給付に係る資産	1,156	1,345
その他	252	310
投資その他の資産合計	1,643	1,768
固定資産合計	8,671	9,282
<b>資産合計</b>	<b>33,571</b>	<b>34,063</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,898	2,785
電子記録債務	322	377
短期借入金	3,000	2,200
未払金	870	1,481
未払費用	765	786
未払法人税等	187	139
契約負債	466	283
賞与引当金	684	426
製品保証引当金	33	37
受注損失引当金	68	105
その他	394	412
流動負債合計	8,691	9,037
<b>固定負債</b>		
リース債務	296	384
未払役員退職慰労金	68	68
繰延税金負債	10	10
役員株式報酬引当金	51	38
退職給付に係る負債	56	60
その他	55	49
固定負債合計	538	611
<b>負債合計</b>	<b>9,230</b>	<b>9,648</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	2,755	2,755
利益剰余金	18,393	17,940
自己株式	△1,597	△1,583
株主資本合計	22,325	21,887
<b>その他の包括利益累計額</b>		
為替換算調整勘定	1,620	2,081
退職給付に係る調整累計額	395	446
その他の包括利益累計額合計	2,016	2,528
<b>純資産合計</b>	<b>24,341</b>	<b>24,415</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>33,571</b>	<b>34,063</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	17,936	18,180
売上原価	13,515	14,064
売上総利益	4,421	4,115
販売費及び一般管理費	3,802	3,768
営業利益	618	347
営業外収益		
受取利息	27	19
受取配当金	2	2
受取賃貸料	10	11
デリバティブ評価益	47	40
受取損害賠償金	109	—
受取保険金	—	58
助成金収入	—	25
その他	44	29
営業外収益合計	242	186
営業外費用		
支払利息	13	35
持分法による投資損失	54	99
為替差損	70	112
その他	3	4
営業外費用合計	142	251
経常利益	717	282
税金等調整前四半期純利益	717	282
法人税、住民税及び事業税	115	146
法人税等調整額	101	52
法人税等合計	216	198
四半期純利益	500	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	500	84

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	500	84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	—
為替換算調整勘定	295	461
退職給付に係る調整額	△9	50
その他の包括利益合計	292	512
四半期包括利益	793	596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	793	596

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、

第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	675百万円	760百万円
のれんの償却額	4百万円	4百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,367	13,568	17,936	—	17,936
外部顧客への売上高	4,367	13,568	17,936	—	17,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,367	13,568	17,936	—	17,936
セグメント利益又は損失 (△)	△419	1,037	618	—	618

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,582	13,597	18,180	—	18,180
外部顧客への売上高	4,582	13,597	18,180	—	18,180
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,582	13,597	18,180	—	18,180
セグメント利益又は損失 (△)	△511	858	347	—	347

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。